

# 令和5年度学力調査結果について

(全国学力・学習状況調査 概要)

令和5年8月

益田市教育委員会

# 益田市全体の結果概要

## I 全国学力・学習状況調査について

### 1 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査実施日

令和5年4月18日（火）

英語「話すこと」調査の実施日：令和5年4月18日（火）～5月26日（金）

### 3 調査の内容

#### (1) 主な変更点

- ①英語において「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

#### (2) 教科に関する調査

<p>国語、算数・数学、英語は、それぞれ次の①と②を一体的に出題</p> <p>①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等</p> <p>②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容</p>
--

#### (3) 質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

### 4 実施学校数・学年・教科等・人数

実施学年 学校数	教科に関する調査			意識調査
	国語	算数・数学	英語	
小学6年生 15校	359人	329人		367人
中学3年生 9校	366人	366人	364人	357人

## II 用語

- 「正答率」…各学年・教科において、児童生徒個人が正答した問題の割合(%)を全国又は島根県、益田市単位で平均した値
- 「領域」…各教科の学習内容を系統的に示したもの。例えば、算数では「数と計算」「図形」等
- 「無解答率」…教科の各設問において、無解答であった児童生徒の割合(%)

## III 公表について

### 1 公表の内容

教科に関する調査及び生活習慣や学校環境等に関する質問紙調査について、益田市全体の結果

### 2 公表結果に関する留意事項

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力や生活意識等の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと。

したがって、数値の細かな差のみに着目するのではなく、全体の傾向を大きく捉えたり、無解答率や誤答等も含めて、成果と課題を丁寧に捉えたりすることが必要である。

英語「話すこと」に関する調査は、ICT端末を活用し、文部科学省 CBT システム (MEXCBT) を用いたオンラインの音声録音方式で実施するものであり、各学校の ICT 環境がさまざまであることから、令和5年度については、特例的な措置として、以下のとおり取り扱うこととする。

- (1) 英語に関する調査の結果については、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の合計を集計する。また、「話すこと」に関する調査の結果については、当日実施校の結果から推定される全国値のみを公表することとし、都道府県別、指定都市別の公表は行わない。
- (2) 期間内実施校の英語「話すこと」に関する調査結果については、参考値として当該学校とその設置者、所管する都道府県教育委員会に提供することとし、公表は行わない。

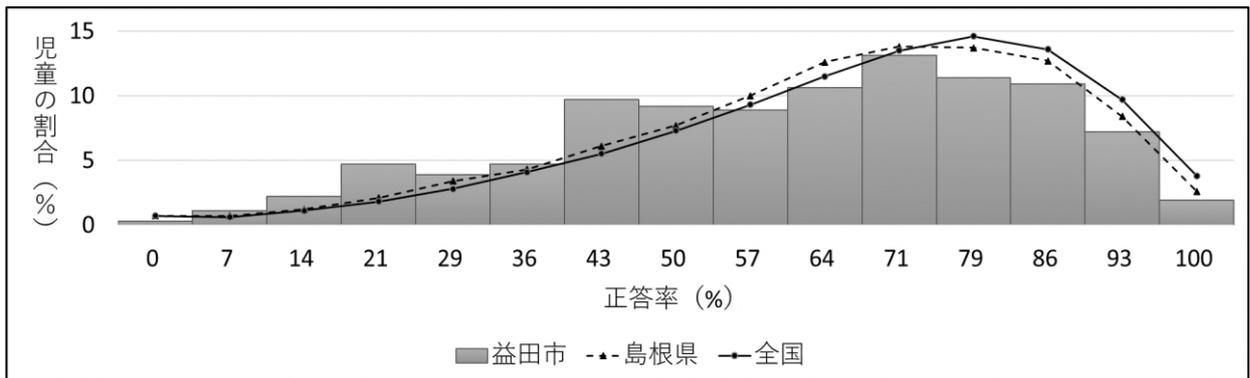
#### IV 教科に関する調査の結果

##### 1 結果の概要

- ・各教科平均正答率について、小6の国語は全国平均を6ポイント、県平均を4ポイント、算数は全国平均を8ポイント、県平均を4ポイント下回った。中3の国語は全国平均、県平均ともに5ポイント、数学は全国平均を9ポイント、県平均を6ポイント、英語は全国平均を11ポイント、県平均を5ポイント下回った。
- ・小6国語は、全ての内容・領域で全国平均、県平均を下回った。
- ・小6算数は、「図形」の領域を除き全国平均、県平均を下回った。
- ・中3国語は、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の内容を除き全国平均を下回り、全ての内容・領域で県平均を下回った。
- ・中3数学・英語は、全ての内容・領域で全国平均、県平均を下回った。

##### 2 各教科の正答数分布状況と解答状況から特に課題の見られた設問

【小学校6年生 国語】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

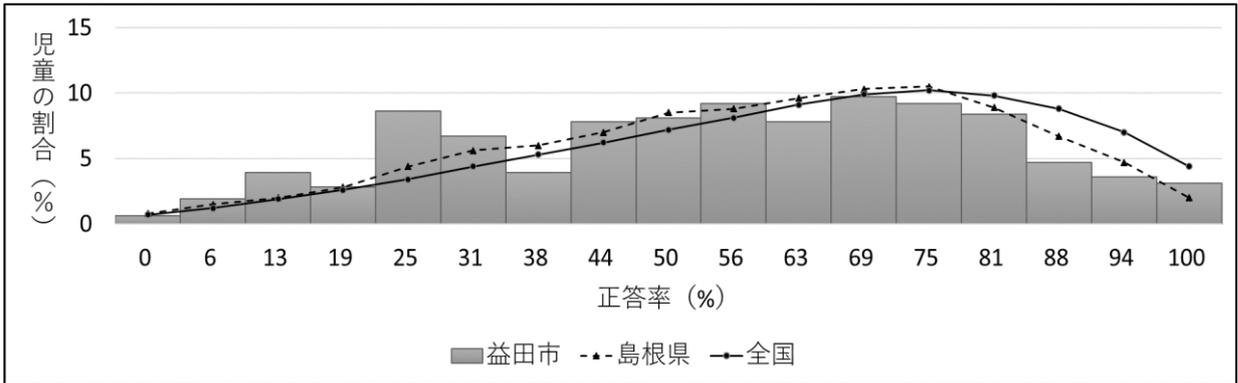


		益田市	全国	益田市—全国	県	益田市—県		
教科総合		61	67	▽	-6	65	▽	-4
内容	言葉の特徴や使い方に関する事項	65	72	▽	-7	71	▽	-6
	情報の扱い方に関する事項	59	63	▽	-4	61		-2
	話すこと・聞くこと	68	73	▽	-5	71	▽	-3
	書くこと	20	27	▽	-7	23	▽	-3
	読むこと	64	71	▽	-7	68	▽	-4

- ・市平均正答率は61%であり、全国よりも6ポイント下回っている。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」において、全国平均を7ポイント下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【川村さんの文章】の下線部分を、漢字を使って書き直す(-11ポイント)</li> <li>・【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する(-9ポイント)</li> <li>・【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する(-9ポイント)</li> <li>・【インタビューの様子】の傍線部ア(～ということだと思いますが、合っていますか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する(-9ポイント)</li> <li>・米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する(-7ポイント)</li> <li>・【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く(-7ポイント)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く (11ポイント 差-4ポイント)</li> <li>・【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す (11ポイント 差-4ポイント)</li> <li>・寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く (14ポイント 差±0)</li> </ul>

【小学校6年生 算数】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

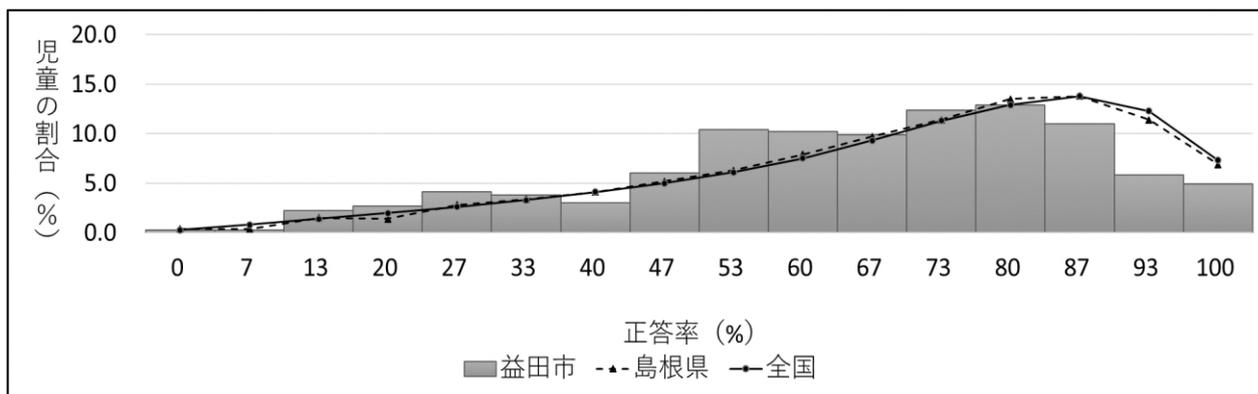


		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県
教科総合		55	63	▽	59	▽
領域	数と計算	60	67	▽	64	▽
	図形	43	48	▽	43	0
	変化と関係	63	71	▽	67	▽
	データの活用	56	66	▽	63	▽

・市平均正答率は55%であり、全国よりも8ポイント下回っている。  
 ・「データの活用」は10ポイント、「変化と関係」は8ポイント、「数と計算」は7ポイント、「図形」は5ポイント、全国よりも下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5脚の椅子を重ねた時の高さを求める(－5ポイント)</li> <li>・比例になっていないことを、表の数を使って書く(－6ポイント)</li> <li>・椅子の48脚の重さの求め方と答えを書く(－6ポイント)</li> <li>・四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ(－5ポイント)</li> <li>・四角形の名前を書く(－6ポイント)</li> <li>・三角形を正三角形にするための角の大きさを書く(－5ポイント)</li> <li>・二つの三角形の面積の大小についてわかることを選び、選んだわけを書く(－6ポイント)</li> <li>・式がどのようなことを表しているのかを選ぶ(－11ポイント)</li> <li>・ファイルを全部並べた長さの求め方と答えを記述し、ファイルを棚に入れることができるかどうか判断する(－11ポイント)</li> <li>・分配法則、和と積が混じった計算の答えを求めることができる(－6ポイント)</li> <li>・筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ(－5ポイント)</li> <li>・基準量と比較量から、示された割合を選ぶ(－9ポイント)</li> <li>・運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める(－10ポイント)</li> <li>・二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く(－11ポイント)</li> <li>・二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ(－8ポイント)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く。(6ポイント 差－3ポイント)</li> <li>・切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときAの角の大きさを書く。(6ポイント 差－2ポイント)</li> <li>・運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める。(6ポイント 差－2ポイント)</li> <li>・二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く。(16ポイント 差－2ポイント)</li> <li>・二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ。(7ポイント 差－2ポイント)</li> </ul>

【中学校3年生 国語】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

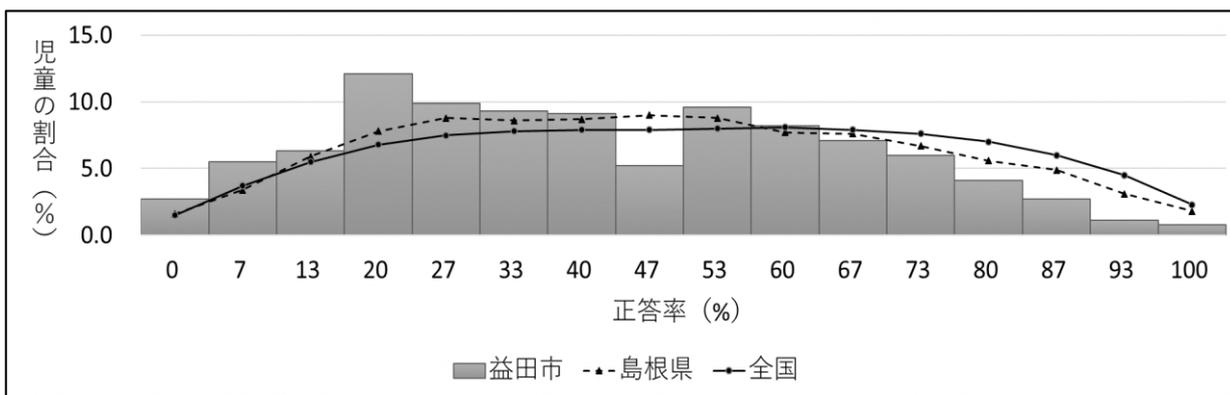


		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県
教科総合		65	70	▽	70	▽
内容	言葉の特徴や使い方に関する事項	68	68		70	▽
	情報の扱い方に関する事項	57	63	▽	63	▽
	我が国の言語文化に関する事項	71	75	▽	76	▽
	話すこと・聞くこと	76	82	▽	82	▽
	書くこと	58	63	▽	61	▽
	読むこと	56	64	▽	63	▽

- ・市平均正答率は65%であり、全国よりも5ポイント下回っている。
- ・「読むこと」において全国より8ポイント、「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」において全国よりも6ポイント、「書くこと」において全国よりも5ポイント下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話を受けて発した質問について、のべ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する(－6ポイント)</li> <li>・インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く(－7ポイント)</li> <li>・二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する(－9ポイント)</li> <li>・自分がこれからどのように本を読みたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く(－8ポイント)</li> <li>・レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する(－7ポイント)</li> <li>・『判じ絵』とは何かと見出しを付けた部分について、内容のまとめで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとめに付ける見出しを書く(－9ポイント)</li> <li>・原文の中の語句「いと」に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す(－7ポイント)</li> <li>・現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く(－10ポイント)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く (18ポイント 差－7ポイント)</li> <li>・自分がこれからどのように本を読みたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く (7ポイント 差－3ポイント)</li> <li>・漢字を書く(おし量って) (12ポイント 差－1ポイント)</li> <li>・『判じ絵』の解説の面白さと見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く (11ポイント 差－1ポイント)</li> <li>・現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く (28ポイント 差－7ポイント)</li> </ul>

【中学校3年生 数学】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▽：市が3ポイント以上下回るもの

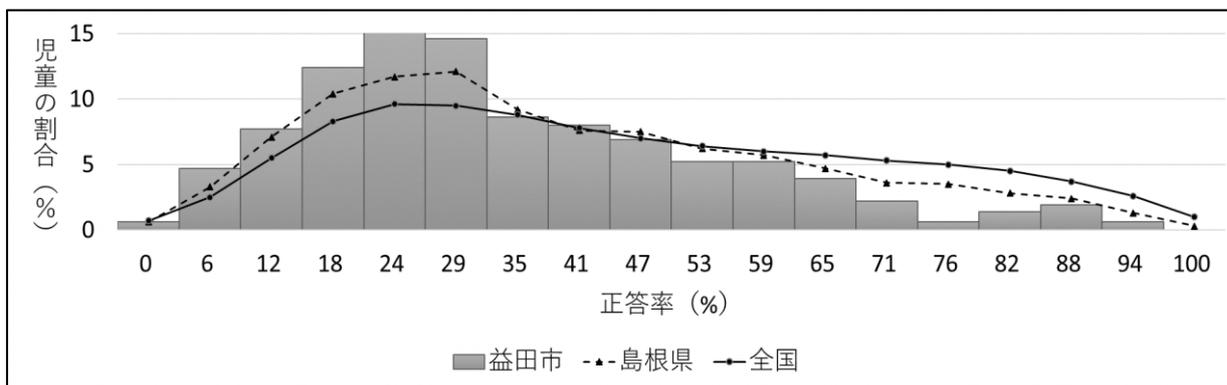


		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県
教科総合		42	51	▽	48	▽
領域	数と式	52	63	▽	59	▽
	図形	21	33	▽	29	▽
	関数	42	51	▽	48	▽
	データの活用	48	49	-1	49	-1

- ・市平均正答率は42%であり、全国よりも9ポイント下回っている。
- ・「図形」は12ポイント、「数と式」は11ポイント、「関数」は9ポイント、全国よりも下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然数を選ぶことができる(−17ポイント)</li> <li>・分配法則を用いて文字式の計算ができる(−8ポイント)</li> <li>・空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ(−9ポイント)</li> <li>・計算結果がいつでも3の倍数になることの説明を完成する(−11ポイント)</li> <li>・計算結果がいつでも4の倍数になることの説明を完成する(−8ポイント)</li> <li>・2つの大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く(−5ポイント)</li> <li>・二人の選手のグラフが直線で表されていること的前提となっている事柄を選ぶ(−12ポイント)</li> <li>・グラフや式を用いて、6区のスタート地点からおよそ何mの地点で先行する選手に後行の選手が追いつくのかを求める方法を説明する(−7ポイント)</li> <li>・2つの直線が平行であることを三角形の合同を基にし、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する(−5ポイント)</li> <li>・平行線がかげないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く(−5ポイント)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算結果がいつでも4の倍数になることの説明を完成する (34ポイント 差−9ポイント)</li> <li>・計算結果がいつでも3の倍数になることの説明を完成する (17ポイント 差−4ポイント)</li> <li>・グラフや式を用いて、6区のスタート地点からおよそ何mの地点で先行する選手に後行の選手が追いつくのかを求める方法を説明する (17ポイント 差−4ポイント)</li> <li>・2つの直線が平行であることを三角形の合同を基にし、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する (35ポイント 差−10ポイント)</li> <li>・平行線がかげないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く (21ポイント 差−7ポイント)</li> </ul>

【中学校3年生 英語】 ○：市が3ポイント以上上回るもの ▼：市が3ポイント以上下回るもの



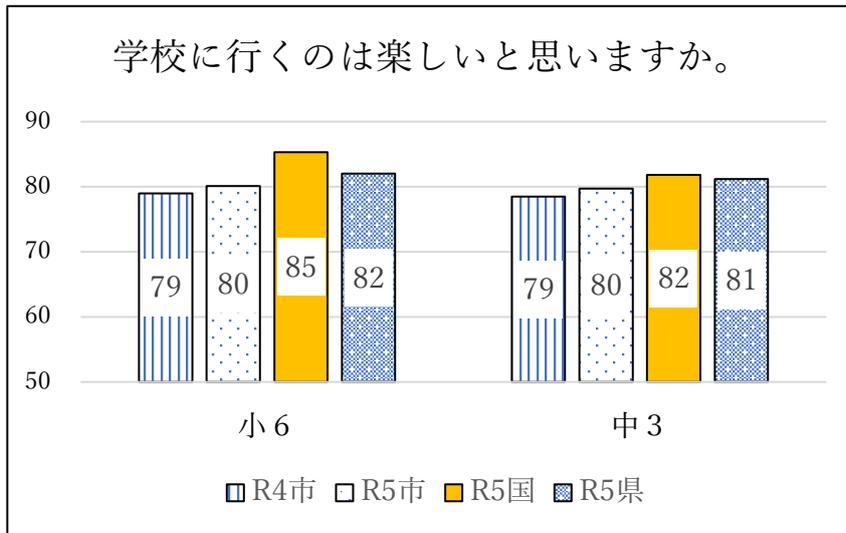
		益田市	全国	益田市－全国	県	益田市－県
教科総合		35	46	▼	40	▼
領域	聞くこと	45	58	▼	53	▼
	読むこと	44	51	▼	46	▼
	書くこと	11	23	▼	17	▼

- ・市平均正答率は35%であり、全国より11ポイント下回っている。
- ・領域別では、「聞くこと」が13ポイント、「書くこと」が12ポイント、「読むこと」が7ポイント全国平均を下回っている。

特に課題がみられた設問と正答率全国差	無解答が多かった設問とその無解答率と全国との差
<ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する (－20ポイント)</li> <li>・買い物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する (－19ポイント)</li> <li>・与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる【問題番号9(1)①】 (－18ポイント)</li> <li>・図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する (－16ポイント)</li> <li>・与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる【問題番号9(1)②】 (－14ポイント)</li> <li>・メールの英文を依頼する表現に書き換える (－13ポイント)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く (42ポイント 差－13ポイント)</li> <li>・学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く (34ポイント 差－13ポイント)</li> <li>・メールの英文を依頼する表現に書き換える (36ポイント 差－11ポイント)</li> <li>・与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる【問題番号9(1)②】 (18ポイント 差－7ポイント)</li> </ul>

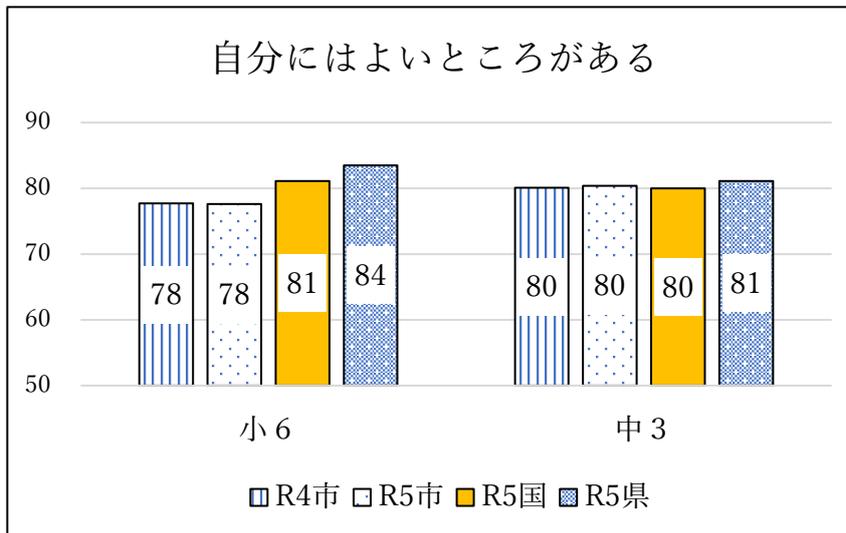
V 児童生徒質問紙（生活・学習に関する意識調査）及び学校質問紙調査の結果

(1) 学校が楽しい



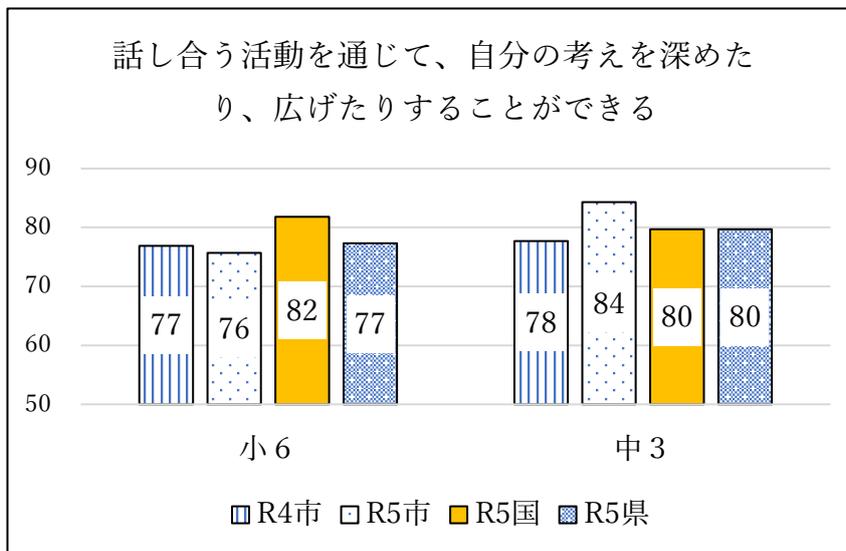
- ・小6については、全国平均よりも5ポイント低く、県平均よりも2ポイント低かった。令和4年度よりも1ポイント高かった。
- ・中3については、全国平均よりも2ポイント低く、県平均よりも1ポイント低かった。令和4年度よりも1ポイント高かった。

(2) 自分にはよいところがある



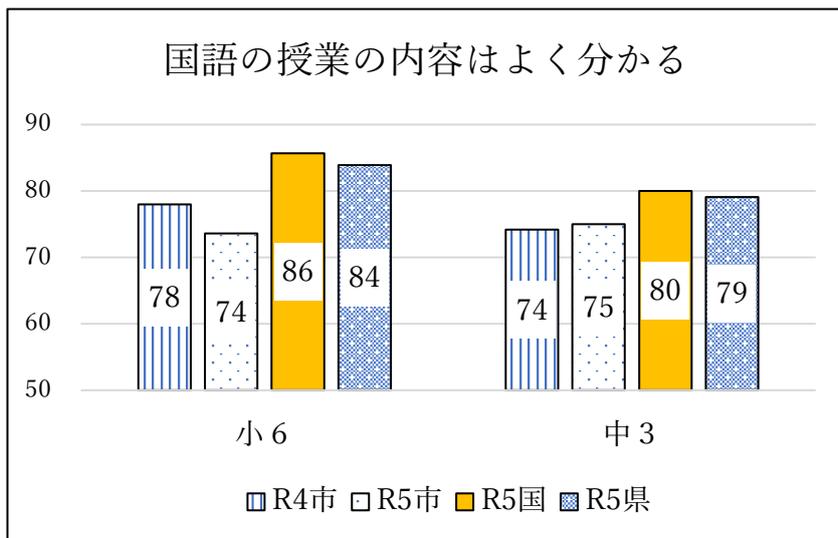
- ・小6については、全国平均よりも3ポイント低く、県平均よりも6ポイント低かった。令和4年度と同じ水準であった。
- ・中3については、全国平均と同じ水準であり、県平均よりも1ポイント低かった。令和4年度と同じ水準であった。

(3) 話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる



- ・小6については、全国平均よりも6ポイント低く、県平均よりも1ポイント低かった。令和4年度よりも1ポイント低かった。
- ・中3については、全国・県平均よりも4ポイント高かった。令和4年度よりも6ポイント高かった。

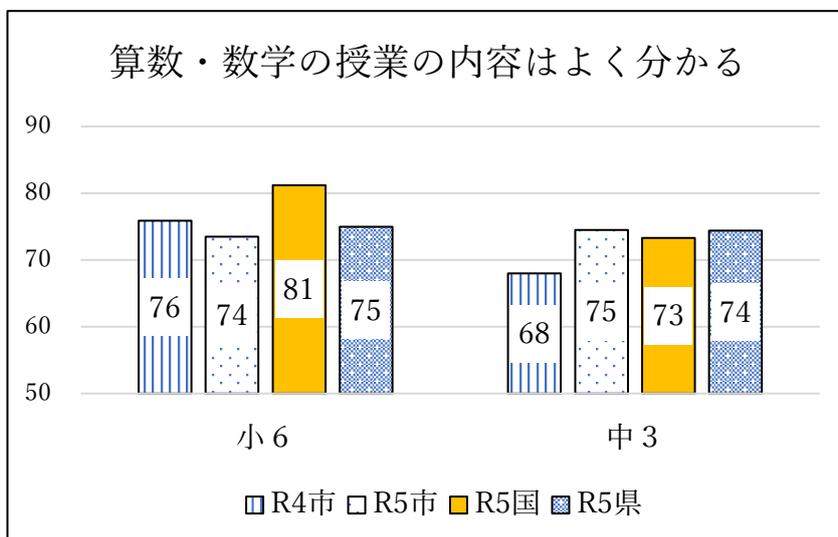
(4) 国語の授業はよく分かる



・小6については、全国平均よりも12ポイント低く、県平均よりも10ポイント低かった。令和4年度よりも4ポイント低かった。

・中3については、全国平均よりも5ポイント低く、県平均よりも4ポイント低かった。令和4年度よりも1ポイント高かった。

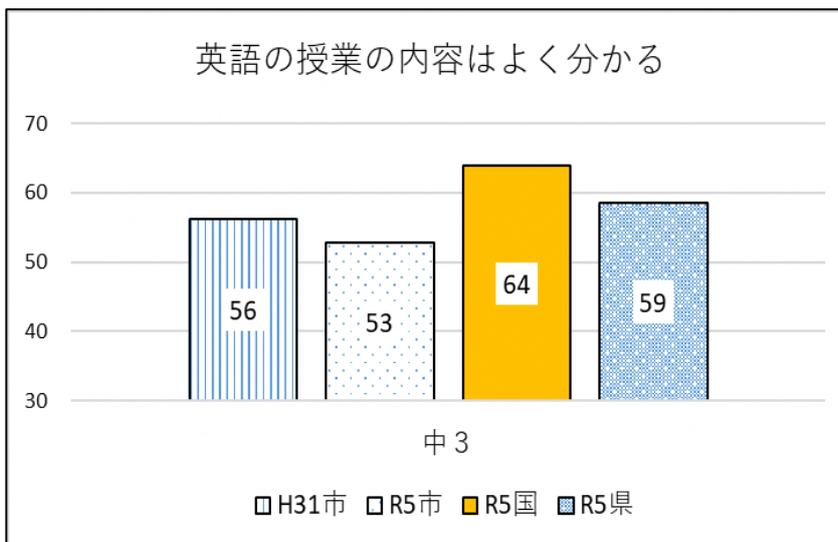
(5) 算数・数学の授業はよく分かる



・小6については、全国平均よりも7ポイント低く、県平均よりも1ポイント低かった。令和4年度よりも2ポイント低かった。

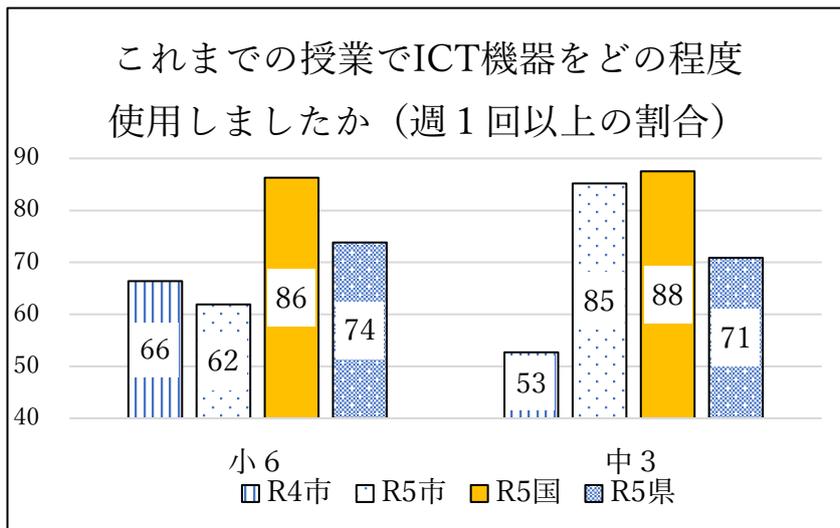
・中3については、全国平均よりも2ポイント高く、県平均よりも1ポイント高かった。令和4年度よりも7ポイント高かった。

(6) 英語の授業はよく分かる (前回は平成31年度実施・中学校のみ実施)



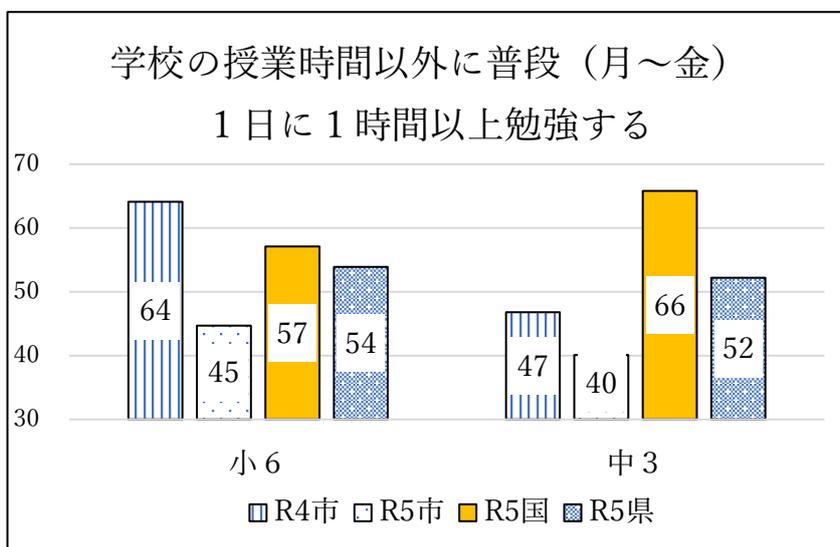
・全国平均よりも11ポイント低く、県平均よりも6ポイント低かった。平成31年度よりも3ポイント低かった。

(7) ICTの活用の充実



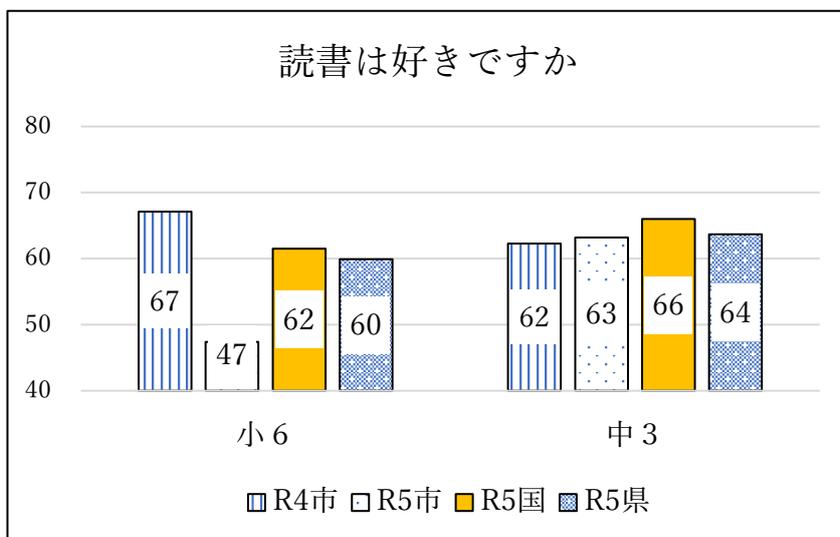
- ・小6については、全国平均よりも24ポイント低く、県平均よりも12ポイント低かった。令和4年度よりも4ポイント低かった。
- ・中3については、全国平均よりも3ポイント低く、県平均よりも14ポイント高かった。令和4年度よりも32ポイント高かった。

(8) 平日の家庭学習時間



- ・小6については、全国平均よりも12ポイント低く、県平均よりも9ポイント低かった。令和4年度よりも19ポイント低かった。
- ・中3については、全国平均よりも26ポイント低く、県平均よりも12ポイント低かった。令和4年度よりも7ポイント低かった。

(9) 読書が好き



- ・小6については、全国平均よりも15ポイント低く、県平均よりも13ポイント低かった。令和4年度よりも20ポイント低かった。
- ・中3については、全国平均よりも3ポイント低く、県平均よりも1ポイント低かった。令和4年度よりも1ポイント高かった。